

科目名	電子カルテ							年度	2026
英語科目名	Electronic Health Records							学期	後期
学科・学年	医療事務科 2年次	必/選	選	時間数	45	単位数	3	種別※	演習
担当教員	鈴木梨沙	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医療事務		
<b>【科目の目的】</b> 電子カルテとは、従来医師が診療記録を電子的なシステムに入力し、一括してカルテを編集・管理するシステムである。電子カルテの使い方について理解し、電子カルテ実技検定試験の合格を目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> 診療情報（カルテ）の電子化について学び、パソコンを使用して電子カルテシステムの操作を学びます。									
<b>【到達目標】</b> 電子カルテシステムの理解、電子カルテ実技検定試験合格									
<b>【授業の注意点】</b> 演習問題を中心に講義、問題、解説を行う。講義中は分からない部分は必ず、その授業の中で確認すること。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	カルテに関する関連法規が理解できている	カルテに関する関連法規が概ね理解できている	カルテに関する関連法規の一部は理解できている	カルテに関連する法律があることは理解できている	カルテと法律の関係がわからない				
到達目標 B	電子カルテシステムの機能を理解し、適切に使用できる	電子カルテシステムの機能を理解し、適切な使用が概ねできる	電子カルテシステムの機能を理解しているが操作を誤ることがある	電子カルテシステムの機能についてほしい理解でき、操作も概ねできる	電子カルテシステムが理解できず、操作ができない				
到達目標 C	外来・入院のカルテの作成ができ、完成させることができる	外来カルテは作成できるが、入院カルテは難しいと感じている	外来カルテの作成は概ねできる	一部操作に不安がある	ほとんどの操作が理解できない				
到達目標 D	会話形式からカルテの作成ができ、記載事項が理解できている	会話形式からカルテの記載事項が概ね理解できている、カルテ作成ができる	会話形式からカルテに記載すべき事項が概ね理解できている	会話形式からカルテに記載すべき事項に不安がある	会話形式を見ても何を入力するのかわからない				
到達目標 E	検定の合格基準をクリアできている	検定の合格に向けて、苦手箇所が把握できている	検定合格に向けて演習が必要だが合格できそう	検定合格に必要な入力時間が時間内に終わらない	検定合格に必要なシステムの操作ができない				
<b>【教科書】</b> 適時、プリントを配布									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験にて評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		電子カルテ			年度	2026
英語表記		Electronic Health Records			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	電子カルテシステムの理解	電子カルテ操作に必要な知識の習得	1 診療録について	関連法規を理解している	3	
			2 電子カルテシステムとは	電子カルテシステムでできることが理解できている		
			3 電子カルテの操作	電子カルテシステムの立ち上げ方が理解できている		
2	電子カルテシステムの操作	外来カルテの入力	1 患者登録	頭書きの登録ができる	3	
			2 カルテの記載方法	カルテに記載すべき事項について理解している		
			3	診療行為の入力方法を理解している		
3	電子カルテシステムの操作	外来カルテの入力	1	カルテに記載すべき事項について理解している	3	
			2 カルテの記載方法	SOAP形式の入力について理解している		
			3	診療行為の入力方法を理解している		
4	電子カルテシステムの操作	外来カルテの入力	1	カルテに記載すべき事項について理解している	3	
			2 カルテの記載方法	SOAP形式の入力ができる		
			3	診療行為の入力ができる		
5	電子カルテシステムの操作	外来カルテの入力	1	カルテに記載すべき事項について理解している	3	
			2 カルテの記載方法	SOAP形式の入力ができる		
			3	診療行為の入力ができる		
6	電子カルテシステムの操作	オーダリングシステムの操作	1 オーダリングシステムとは	オーダリングシステムについて理解している	3	
			2	オーダリングシステムが操作できる		
			3 オーダリングシステム	オーダリングシステムを使ったカルテ記載ができる		
7	電子カルテシステムの操作	入院カルテの入力	1	入院患者のベッド確保ができる	3	
			2 カルテの記載方法	入院患者のカルテを操作できる		
			3	入院時のオーダリングシステムについて理解できている		
8	電子カルテシステムの操作	入院カルテの入力	1	緊急入院と予約入院の違いが理解できている	3	
			2 カルテの記載方法	入院のカルテの作成ができる		
			3	入院のカルテを完成させ印刷できる		
9	電子カルテシステムの操作	外来・入院カルテの入力	1	一人で必要な操作ができる	3	
			2 入力演習	一人でSOAP形式の入力ができる		
			3	カルテを完成させることができる		
10	電子カルテシステムの操作	会話形式の代行入力	1 カルテの記載方法	会話形式の代行入力が理解できている	3	
			2	カルテに記載すべき事項について理解している		
			3 入力演習	会話形式からカルテの作成ができる		
11	検定対策	検定合格に向けた演習	1	検定の出題形式を理解している	3	
			2 検定過去問題	会話形式からカルテの代行入力ができる		
			3	カルテに記載すべき事項について理解している		
12	検定対策	検定合格に向けた演習	1	過去問題で合格に必要なカルテ作成ができている	3	
			2 検定過去問題	検定の出題傾向を理解している		
			3	検定合格のポイントを理解している		
13	検定対策	検定合格に向けた演習	1	過去問題で合格に必要なカルテ作成ができている	3	
			2 検定過去問題	苦手箇所を把握している		
			3	試験時間の配分が理解できている		
14	検定対策	検定合格に向けた演習	1	過去問題で合格に必要なカルテ作成ができている	3	
			2 検定過去問題	苦手箇所を把握している		
			3	試験時間の配分が理解できている		
15	検定対策	検定合格に向けた演習	1	過去問題で合格に必要なカルテ作成ができている	3	
			2 検定過去問題	苦手箇所の克服ができている		
			3	試験時間について余裕を持って入力できている		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等